

## 前期日程問題

### 平成20年度医学科入学試験問題

# 数 学

#### (注意事項)

- 1 監督者の指示があるまで、この冊子を開いてはいけない。
- 2 **解答用紙に受験番号と氏名を必ず記入すること。**
- 3 この問題冊子の本文は、4 ページからなっている。落丁、乱丁及び印刷不鮮明な箇所があれば、手をあげて監督者に知らせること。
- 4 この問題冊子の計算用紙と余白は、適宜下書きに使用してもよい。
- 5 解答は、すべて別紙「解答用紙」の指定された場所に記入すること。
- 6 この問題冊子は持ち帰ること。

**1**  $xy$  平面上において、曲線  $y = \log(2x + 1)$  ( $x > -\frac{1}{2}$ ) を  $C$  とおく。定数  $p > 0$  をとる。

(1) 曲線  $C$  上の点  $(t, \log(2t + 1))$  における接線を  $l_t$  とする。接線  $l_t$  と  $x$  軸および 2 直線  $x = 0$ ,  $x = p$  で囲まれた図形の面積を  $A(t)$  とおき、 $t > 0$  における  $A(t)$  の最小値を  $A$  とおく。  $A$  を  $p$  を用いて表せ。

(2) 曲線  $C$  と  $x$  軸および直線  $x = p$  で囲まれた図形の面積を  $B$  とする。

極限值  $\lim_{p \rightarrow \infty} \frac{A - B}{p}$  を求めよ。

ただし、必要ならば

$$\lim_{x \rightarrow \infty} \frac{\log x}{x} = 0$$

であることは証明なしに用いてよい。

**2** 四角形 ABCD は半径 1 の円 O に内接し、 $AB = AD$ 、 $CB = CD$  をみたしている。

(1) 線分 AC は円 O の直径であることを示せ。

辺 CB, CD の中点をそれぞれ M, N とする。四角形 ABCD を線分 AM, AN, MN に沿って折り曲げて点 B, C, D を重ね、四面体 AMNC をつくる。 $x = CM$  ( $0 < x < 1$ ) とおく。

(2) 四面体 AMNC の体積  $V$  を  $x$  を用いて表せ。

(3) 四面体 AMNC に内接する球の表面積  $S$  を  $x$  を用いて表し、 $0 < x < 1$  における  $S$  の最大値を求めよ。

**3**  $n$  を 4 以上の整数とし,  $1, 2, \dots, n$  を並びかえて得られる順列  $a_1, a_2, \dots, a_n$  を考える. このような順列のうちで, 隣り合う二項の大小を比較したときに, 次の性質

$$(V): \begin{cases} a_1 > a_2 > \dots > a_k < a_{k+1} < \dots < a_n \\ \text{となる } k (1 < k < n) \text{ が存在する.} \end{cases}$$

をもつ順列の総数を  $V(n)$  と表す. 例えば,  $n = 4$  のとき, 順列  $2, 1, 3, 4$  や  $3, 2, 1, 4$  などは性質 (V) をもつ

同様に, 性質

$$(N): \begin{cases} a_1 = 1 \text{ かつ} \\ a_1 < a_2 < \dots < a_i > \dots > a_j < \dots < a_n \\ \text{となる } i, j (1 < i < j < n) \text{ が存在する.} \end{cases}$$

をもつ順列の総数を  $N(n)$  と表す. 例えば,  $n = 7$  のとき, 順列  $1, 3, 5, 4, 2, 6, 7$  や  $1, 7, 6, 4, 3, 2, 5$  や  $1, 2, 5, 3, 4, 6, 7$  などは性質 (N) をもつ.

さらに性質 (N) をもつ順列のうち,  $a_n = n$  をみたすものの総数を  $N'(n)$  と表し,  $a_n \neq n$  をみたすものの個数を  $N''(n)$  と表す.

- (1)  $V(n)$  を  $n$  を用いて表せ.
- (2)  $N'(n+1) = N(n) + \frac{V(n)}{2}$  であることを示せ.
- (3)  $N''(n) = \frac{3^{n-2} + 1}{2} - 2^{n-2}$  であることを示せ.
- (4)  $N(n)$  を  $n$  を用いて表せ.

**4**  $xy$  平面上の点  $(0, -1)$  を中心とする半径 2 の円を  $C$  とおく. 第 1 象限に中心をもち,  $C$  に内接し,  $x$  軸に接する二つの円  $A, B$  を考える. 円  $A, B$  は互いに外接しているものとする. 円  $A$  の中心の  $x$  座標を  $p$ , 半径を  $r$ , 円  $B$  の中心の  $x$  座標を  $q$ , 半径を  $s$  とし,  $p < q$  をみたしているとする.

- (1) 極限值  $\lim_{p \rightarrow \sqrt{3}-0} \frac{\sqrt{3}-p}{r}$  を求めよ.
- (2) 極限值  $\lim_{p \rightarrow \sqrt{3}-0} \frac{s}{r}$  を求めよ.